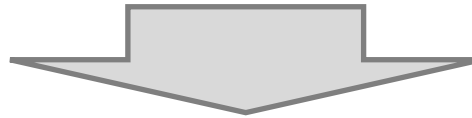


# 「国際金融都市・東京」構想骨子 (概要)



## 「国際金融都市・東京」構想骨子

- 金融の活性化は、世界的な都市間競争に勝ち抜き、成長していくための必須の要素であり、東京の成長戦略の中核
- 金融分野のGDPに占める割合を、倍増（5%→10%）させると、我が国のGDPを約30兆円押し上げる効果
- 香港・シンガポールの発展により、国際的な競争環境は激化
- 今回がラストチャンスとの危機感の下、構造的・本質的な課題に踏み込み、抜本的対策を具体的な「行動」に結び付けることが必要
- 平成28年11月に「国際金融都市・東京のあり方懇談会」を設置し、これまで5回開催



**本年5月に出された懇談会の「中間取りまとめ」を参考に、  
「国際金融都市・東京」構想骨子を策定**

# 「国際金融都市・東京」の目指す都市像

## アジアの 金融ハブ

〔国内の個人金融資産から、日本を含むアジアに成長資金を供給〕

## 人材、資金、 情報、技術の 集積

〔金融分野に留まらず、新たな産業やビジネスを創出〕

## 資産運用業・ フィンテック に焦点

〔内外の関連事業者を重点的に誘致・育成〕

## 社会的課題の 解決に貢献

〔投資家・顧客本位、ESG投資を東京に取り込む〕

4つの都市像の実現に向け、国や関係する民間事業者と連携しつつ、具体的な行動を起こしていく

## (1) 税負担軽減に向けた見直し

国内外金融系企業、とりわけ資産運用業及びフィンテック企業の新規参入促進のため、都税である法人二税の軽減について検討するとともに、国に対して、法人税の軽減（国家戦略特区制度における優遇税制の活用等）や相続税の見直しなどについて働きかけを行う

## (2) 金融行政手続の相談体制及び英語化対応の強化

- 「金融ワンストップ支援サービス」など、金融庁と連携して登録申請等をスムーズに進める「ファストエントリー」を実現
- 金融ライセンス登録手続に関する英語解説書の整備
- 東京開業ワンストップセンターの利便性向上（英語申請等）

## (3) 金融系外国人材が安心して活躍できる生活環境整備

- 特区を活用した職住近接化プロジェクトの推進（医療・教育等）
- 高度金融人材等による家事使用人利用の促進

## 具体的施策② ～東京市場に参加するプレイヤーの育成～

### (1) 海外金融系企業の誘致

- インセンティブや特区規制緩和等による誘致促進  
無償コンサルティング、在留資格特例等により今後4年間で40社を誘致
- 官民一体となった海外プロモーション活動  
活動の成果も踏まえつつ、業界横断的プロモーション組織の設立を検討
- 東京金融賞（仮称）の創設  
広く国内外の事業者を対象とし、受賞者の東京誘致につなげる

### (2) 資産運用業者の育成

- 新興資産運用業者育成プログラム（EMP）等の導入を目指す

### (3) フィンテック産業の育成

- アクセラレータプログラムの実施
- フィンテック等の起業家、投資家、研究機関等の集積により、イノベーションを活性化するエコシステム  
（東京版フィンテックセンター）の形成を目指す

### (4) 金融系人材の育成

- 首都大学東京を活用するなど、高度金融専門人材等を育成

## 具体的施策③ ～金融による社会的課題解決への貢献～

### (1) 顧客本位の業務運営

#### (フィデューシャリー・デューティ)の徹底

- 金融庁と連携を図りながら、「顧客本位の業務運営に関する原則」等の徹底に向けた取組を検討

### (2) コーポレートガバナンス・コード及び スチュワードシップ・コードの徹底

### (3) グリーンファイナンスの利用促進

- 「東京グリーンボンド」を発行するとともに、今後、民間によるグリーンボンドの発行等を促進するための取組を検討

### (4) 東京金融賞（仮称）の創設（再掲）

- 都民のニーズ、都政の課題、ESG投資の普及等に対応できる金融サービスや商品を開発・提供する国内外の事業者を表彰

# 「国際金融都市・東京」の実現に向けた新たな構想 策定に向けた今後のスケジュール

懇談会

東京都

7月  
～10月

懇談会を複数回開催

11月

懇談会  
最終提言

6月

「国際金融都市・東京」の実  
現に向けた構想骨子策定

外資系金融機関CEO等と知事との  
意見交換会（6/22）

懇談会の議論等を参考に、  
個々の取組を精緻化

秋には「東京版金融ビッグバン」とも言うべき、  
新たな構想を策定